

提出時点の調査及び措置の状況を記載する

概要書

地番及び住居表示で記載

1 所在地 大阪市 区 町 丁目 番（地番）
大阪市 区 町 丁目 （住居表示）

2 調査面積 m^2 （敷地面積： m^2 ）

調査面積は土壤汚染状況調査を実施した面積を、敷地面積は敷地全体の面積を記載

3 調査契機 法・条例調査の場合は当該事由を、自主調査の場合は調査の目的を記載

所見は土壤汚染の可能性の有無を結論付けて記載（所見「不明」は不可）

4 土地利用履歴

年代	土地の利用方法	土壤汚染の可能性等の所見
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～		

5 調査概要

地歴調査（資料調査、聴取調査、現地調査）、測量（位置出し）、現地調査（土壤ガス試料採取・分析、土壤試料採取）及び公定法分析等の各期間を記載

(1) 調査期間

多数の場合は特定有害物質の分類別に項目数も記載

(2) 調査項目

土壤溶出量基準不適合の場合を例示

- ・土壤溶出量、土壤含有量及び地下水基準に不適合である項目について、項目、指定基準、調査深度、検出最大値等を記載
- ・深度調査を実施した場合は、検出最大値深度、調査深度、基準不適合深度を記載
- ・土壤溶出量が第二溶出量基準に不適合であるときは、その旨記載
- ・土壤ガス調査で検出され、深度調査を実施しない場合は、その旨記載するとともに、検出された土壤ガス濃度を記載

(3) 調査結果（基準不適合項目）
<土壤溶出量>（mg/L）

項目	指定基準 （第二溶出量基準）	調査深度 （G.L.-m）	検出最大値 （G.L.0～0.5m）	検出最大値（全試料中） （G.L.-m）	汚染の深さ （G.L.-m）	基準不適合区画数 /全単区画数	第二溶出量基準 不適合区画数 /全単区画数
（ ）	（ ）	現況地表面 （～）		（ ）		/	/
		地下配管 （～）		（ ）		/	/

<土壤含有量>
全て基準適合

「汚染の深さ」：
措置の対象となる深さ方向の範囲を記載

<地下水>
全て基準適合

- ・（数値が算定できる場合は）基準不適合面積・土量を記載
- ・土壤溶出量が第二溶出量基準に不適合であるときは、当該面積、土量も記載

6 基準不適合範囲 面積： m^2 土量： m^3
（第二溶出量基準不適合面積： m^2 土量： m^3 ）

7 汚染原因 推測を含む、推測も出来ない場合は「不明」と記載

8 措置概要 措置面積： m^2 、措置土量： m^3

措置の方法	措置面積（ m^2 ）	措置土量（ m^3 ）	対策期間（予定）
			平成 年 月 ～ 日
			平成 年 月 ～ 日

9 備考

(1) 現状：

- ・調査報告書提出時に措置計画が策定されている場合には記載
- ・措置内容、措置面積、措置土量、措置期間を記載（予定を含む）
- ・措置の方法を複数用いる場合は各々記載

(2) 今後の土地利用：

現時点の土地利用方法、地表面の様子（＝直接摂取の有無）等を記載

(3) 周辺住民等への周知：

予定を含む

実施時期について記載（予定を含む）